

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

朝倉市立秋月小学校

1 実践テーマ	【 III V 】
2 実施対象者	朝倉市立秋月小学校 5年生 24名 6年生 23名 保護者 6名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(体育) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	○ 2012 ロンドンパラリンピック金メダリスト 浦田理恵さんの講話を通して、障がいのあるなしにかかわらず、自分らしく生きる気持ちを育む。 ○ ゴールボール体験を通して、2020年東京大会への関心を高める機会とする。
5 取組内容	(1) 事前の活動(6月15日実施)体育科「バスケットボール」人権・スポーツ教室 プロバスケットボールチーム”ライジングゼファークオカ”が行っている「人権・スポーツ教室」を5,6年生対象に実施した。 バスケットボールを通して、「コミュニケーションを図ること」「相手の事を考えて行動すること」の大切さについて話を聞きバスケットボール体験を行った。制限時間内に何本シュートが入るか競うゲームをし、1回目終了後に、どうしたら本数が増えるのかチームで話し合い2回目をする、どのグループも10本ほど記録が伸び、みんなで話し合っ、工夫することの大切さを実感することができた。スポーツを通して、スポーツの持つ楽しさや、互いを思いやる心の大切さを学ぶことができた。



(2) 本時の活動 (10月30日実施) 道徳科「ほこりある生き方」D-22
 浦田さんの生き方に学ぼう

2012 ロンドンパラリンピック金メダリスト浦田理恵さんをお迎えして、講演「自分らしくきらきら生きる」とゴールボール体験を行った。

浦田さんは教師になるという志半ばで視力を失った後、ゴールボールと出会い、競技をスタートさせた。多くの困難の中でも目標をもち努力を積み重ねる姿に、障がいがあるからではなく、自分らしく生きるための努力を積み重ねることの大切さを感じることができた。「どれだけ特別になれるくらい努力をするか」という言葉が心に残ったと多くの子ども達が感想に残していた。

また、ゴールボール体験では、見えない世界でスポーツをする大変さを体験したり、おもしろさを味わったりすることができた。浦田さんとスポーツで交流することを通して、「しっかり聞く」「返事をする」「声かけ」の大切さを改めて感じることもできた。

自分らしく生きるためには、努力すること、自他の違いを認めて互いに思いやることの両面を学ぶことができた。



(3) 事後の活動 (1月11日) オリンピック・パラリンピックに関するDVD活用
 パラリンピックが開催される意義を知ろう

1学期、2学期の実践を受けて、パラリンピックが開催される意義について考えた。スポーツを通して、多様性を認め、誰もが活躍できる社会にしていくことが大切であることに気付くことができた。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験活動を設定した学習を行うことで、スポーツを楽しむためには自他を認め合うことが大切であると実感することができた。 ○ パラリンピックメダリストをGTに迎えて学習したことで、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。(56%→100%) ○ 年間を通して実践を行ったことで、児童だけでなく教師の関心も高まり関連した指導を行うことができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関心を高めるために、学期ごとの実践を設定して、年間を通じた実践を行った。 ○ 障がいのあるなしにかかわらずスポーツを楽しむことのすばらしさを味わうことができるようにプロスポーツ選手や金メダリストとの交流を設定した。 ○ オリンピック・パラリンピックムーブメントを広げるために、保護者・地域へ参加の呼びかけを行った。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重点的に育成する資質・能力を設定して、各学年に応じた指導を展開できるように、年間指導計画にオリンピック・パラリンピック教育を位置づけること
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間指導計画に、オリンピック・パラリンピック教育を位置づけて全学年で実施する。